



◆ アレルギー支援ネットワーク 通 信 ◆



NO. 90 2014. 6. 1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

いよいよ梅雨本番の季節がやってまいりました。傘に長靴、レインコート。子ども達の身の回りの小物がぐっとにぎやかになりますね。雨仲間と仲良しになって、うっとうしい季節を気持ち良く過ごしていきましょう♪

==== も く じ =====

- 1、2014 年度総会開催 ～会場変更のご案内～
- 2、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会
- 3、アレルギー大学 ベーシックプログラム開催のご案内
- 4、アレルギー科医師「リレートーク」 第5回
- 5、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『ふわふわパンケーキ』 近藤 由美
- 6、「アレ大修了生☆リレートーク」 第17回 仲 佳代
- 7、千葉アレネット情報 第2回
- 8、アレルギーっ子の防災
 - ★第8回 防災のはなし 防災士 中根 輝彦
 - ★★東海アレルギー連絡会 交流会のご報告と総会のご案内
 - ★★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ
- 9、賛助会員からのメッセージ ニチモウバイオティックス株式会社
- 10、アレルギーが心配な保護者の方へ
 - ★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第8回 名古屋南部アレルギーの会
 - ★★第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会開催のお知らせ
 - ★★★6月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
 - ★★★★乳幼児の食物アレルギー対策に関するご意見・ご要望の募集について
 - ★★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ
- 11、第31回日本難治喘息・アレルギー疾患学会の活動への寄付のお願い
- 12、Gooddo（グッドゥ）についてご案内
- 13、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内
- 14、募金にご協力ください

=====

-
- 1、2014 年度総会開催 ～会場変更のご案内～
-

日頃は、アレルギー支援ネットワークにご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

2014 年度総会を 6 月 8 日（日）に開催いたします。

先月号で、ご案内いたしました理事会&総会の会場ですが、おかげさまで沢山の方がご出席して頂くことになりました。

そのため、以前の会場ではお部屋が小さく、多くの方に参加して頂く事ができませんので、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、会場の変更をさせていただきます。

ご不便をお掛け致しますが、下記会場へお越しいただきますようお願い申し上げます。

【会場】

千種生涯学習センター 視聴覚室

〒453-0021 名古屋市千種区振甫町 3-34

（地下鉄）「池下」下車、北へ徒歩約 15 分

（市バス）「振甫町」下車すぐ

※駐車場 31 台 あり 満車の場合はお近くのコインパーキングをご利用ください。

総会の議決権があるのは正会員のみですが、出席者は議長の指名により発言をすることができ、一般会員、賛助会員、Web 無料会員の方、どなたでも総会に出席していただくことができます。

アレルギー支援ネットワークの活動を企画運営する理事・スタッフとの交流の機会にもなりますので、是非一度ご出席ください。皆さまからの忌憚のないご意見もいただきたいと思っております。

- 内容： (1) 平成 25 年度 事業報告
東日本大震災における支援活動報告
(2) 平成 25 年度 収支決算報告
(3) 平成 25 年度 会計監査報告
(4) 平成 26 年度 事業計画(案)
(5) 平成 26 年 度 収支予算(案)
(6) その他

ご出席される場合は、メール（info@alle-net.com）でご連絡をお願い致します

2、「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器」講習会

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークでは、教育・保育関係の先生および保護者を対象として、エピペンの使用を含むアナフィラキシー対応に関する講習会を企画しています。

昨年度は、園や学校の先生をはじめ、保護者・救急救命士の方など多くの方にご受講いただいた講習会です。

ご好評により、7月25日(金)・8月29日(金)追加開催が決定しました。

エピペンを打つタイミングなどの重要なポイントを、詳しく学んでいただくことができる内容となっています。迅速に対応していただけるようになるために、講習会へのお申込みをお待ちしております。

3、アレルギー大学 ベーシックプログラム開催のご案内

アレルギー支援ネットワークでは、昨年学生対象とした1日講座『アレルギー大学ベーシックプログラム』(愛知県)を開催しました。学生限定の講座でしたが、500名と大変多くの学生の皆様が参加され、大好評となりました。

本年度は昨年開催の愛知県に加え、新潟県でもアレルギー大学ベーシックプログラムを開催致し、学生以外の皆様もお申し込みいただけます。

通常のアレルギー大学の基礎・初級の内容を中心とした内容で、アレルギーの正しい知識と基本的な対応を1日の集中講座で習得できます。アレルギー大学の日程が多くなかなか参加ができない方にはおすすめです。皆様のお申し込みをお待ちしております。

4、アレルギー科医師「リレートーク」 第5回

皆さんこんにちは。昨年度まであいち小児で研修をさせて頂いた中田如音と申します。リレートーク、今回はあいち小児の卒業生である私が担当させていただきます。

私は4月から名古屋第一赤十字病院小児科でアレルギー外来を担当しています。

また週1日1人ずつですが、日帰り入院での食物経口負荷試験も始めさせて頂きました。毎日多くの患者さんを診療していたあいち小児から異動してみると、アレルギー専門施設としてのあいち小児のレベルの高さを改めて実感するとともに、非専門の小児科診療におけるアレルギーについての情報格差の存在に気づかされます。

そんな私が最近気になっていることから2つ、書かせて頂こうと思います。

まず一つ目は「アレルギー検査の扱い方」についてです。

例えばこんな患者さんがいました。普通ミルクを摂取しても症状のなかった赤ちゃん、離乳食を始める前という理由で生後6ヶ月のとき一般外来でアレルギー検査を受けました。結果は牛乳がクラス1。その際明確な指導は受けず、お母さんの判断でアレルギー用ミルクに変更してしまいます。そして牛乳・

乳製品を完全除去したまま2年が経過しました。2歳になったからとアレルギー外来にかかった時のアレルギー検査は牛乳がクラス1でした。その後牛乳は症状なく摂取できています。結果的にこの子は牛乳アレルギーではなかったのですが、この経過を皆さんはどう思われますか？

この文章を読まれている皆さんにはご存知の方が多いと思いますが、血液検査で抗原特異的IgE抗体の量を計る、いわゆるアレルギー検査の数値はあくまで参考値であって、アレルギーを診断するものではありません。その数値の解釈には注意が必要で、患者さんごと・食品など項目ごとに個別に考えなくてはなりません。同じ数値でもその食品を食べられている人と症状を起こしたことがある人とでは意味が異なるのです。ゆえに検査結果についての丁寧な説明と、必要な場合は食事指導を含めた定期的なフォローを受けることが大切です。

しかし残念なことに、このアレルギーの基本的な知識が十分に浸透しないまま、アレルギー検査が安易に行われ過ぎているように思います。検査をする医師側にも知識の格差が存在します。誤解を生みやすい検査だとの意識が薄ければ説明不足となり、患者さんの自己判断を助長することになりかねません。さきほどの例ではすでに普通ミルクを摂取できていたにも関わらず、アレルギー検査結果の解釈が医師と母の間に十分に共有されず、ニセモノの牛乳アレルギーが作り出されてしまいました。除去するための家族の努力、牛乳除去によるカルシウム不足のリスクやアレルギー用ミルクにかかった費用などを考えると残念な経過だったと思います。

医師側の情報格差がなくなるよう努力しなければならないと感じるとともに、皆さんや周りの方がアレルギー検査を受けられる場合は、基本的な知識を持った上で検査が扱われるよう確認されることをお勧めします。

二つ目は「子どもに対するアレルギー患者教育」についてです。

ある日の外来でみられた風景です。12歳の男の子、気管支喘息で吸入ステロイド薬を使用しています。「お薬はちゃんとできている？」と医師が聞くと本人はうなずきつつもなんとなく目をそらしています。「週に何回ぐらい忘れる？」と聞き直すと、「最近ずっとやってない。」と発言。すると付き添いのお母さんが「え？やってないの？あんた、何してるの！」と怒りだしてしまいました。「お母さんはチェックされないのですか？」と聞くと「本人に全部まかせているので。」とのことでした。

患者さんが小さい頃は母親主導の治療・ケアで管理できていても、成長に合わせて本人の病気や治療についての意識をうまく育てていかないと、学童期・思春期になってからの治療が難しくなる場合があります。これは子育てのスタイルにも大きく影響されるため、なかなか難しい問題です。成長に伴って子どもから手が離れてくると、下の子ができたり仕事を始めたりと患児以外のことでお母さんは忙しくなりがちです。そこで放任するのではなく、お母さんが実際には手を動かさなくても、「ちゃんとやっていることは見えていますよ。」の見守りメッセージを送りつつ患児に任せることで、本人が自分の体のことを自分で管理する意識を育てていくことが大切だと思います。医師も診療をスムーズに進めるためにお母さん相手にいろいろ話してしまうことが多いのですが、患児の意識を育てるような言葉がけを少

しずつでもしていかななくてはならないな、と思います。

とりとめもない文章になりましたが、あれこれ考えながらそれぞれの患者さんにとってよりよい診療を目指したいと思っております。

最後まで読んでくださってありがとうございました。

5、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『ふわふわパンケーキ』 近藤 由美

おやつはもちろん、朝食にもピッタリなパンケーキをご紹介します♪

6、「アレ大修了生☆リレートーク」 第17回 仲 佳代

自分の姪、甥の食物アレルギーをきっかけに、アレ大の受講を始めました。

現在は、幼稚園の委託給食の栄養士として働いています。

そして、あいち小児医療センターでの6ヶ月の研修を終えて、栄養指導のほうにも関わらせて頂いています。

受講によって、今まで疑問に思っていた様々な事を知る事ができました。

手さぐりで除去や解除をしていた時の事を思うと、正直、あの時に知っていたら、食べるときに症状に怯えることなく、必要最小限の除去を行うことで、グッと生活が違っていたと思います。

私にとって講座を受ける事は、本を読むだけの勉強より自分の記憶に残すことができ、加えて、講座を終える事で自分の自信となりました。

他にも、様々な立場の方のご意見や体験、感想を聴くことは、あまりない機会なのでとても勉強になりました。受講生のみなさんの前向きな姿勢もとても素敵でした。

職場の保育園や幼稚園では年々アレルギーのお子さんが増えています。

今後、安全に給食提供を実現する為にも、アレルギーを学ぶ方が増えてほしいです。

仲 佳代

7、千葉アレネット情報 第2回

こんにちは。NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長の桐谷利恵です。

6月の「ノンアレカフェ」のオープン日が決定しました。6月26日（木）11時半から14時です。近くの方はぜひお寄りください。6月以降も月に1回となりますが四街道市にある、さくらそうというコ

コミュニティレストランをお借りして、卵、乳、小麦に対応したヘルシーでおいしい料理を提供します。ワンデーシェフのお店なので他の日はそば打ちの日もありますが「ノンアレカフェ」ではお鍋や調理器具も新しい専用の物を購入しました。

ノンアレカフェではアレルギー対応料理を食べられるだけでなく、アレルギーの相談も出来ます。5月9日と16日に認定NPO法人アトピッズ地球の子ネットワークの赤城 智美さんにいらしていただき相談員の研修も行いました。2回の研修では不十分なので団体の中で研鑽をする予定です。



新しくお鍋など購入したので資金面が苦しいので寄付を募っております。ちばのWA 地域づくり基金を通して寄付をしていただけると税の優遇処置も受けられますのでよろしくお願いいたします。 <http://chibanowafund.org/?info=717>

シェフは当団体の理事でもあります田嶋さんです。田嶋さんはノンアレックのお料理会でも活躍しています。ノンアレカフェについてはTwitter やFacebook、HP でも情報を発信していきますのでチェックしていただければ嬉しいです。

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク

副理事長 桐谷 利恵

<http://www.chiba-allergynet.jp/>

8、アレルギーっ子の防災

★第8回 2014.5.9「救援物資（アレルギー対応備蓄食）輸送訓練 - 1」

防災士 中根 輝彦

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。

災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について、一つ一つ紹介するシリーズ、第4回目です。

前回は、「救援物資輸送訓練（アレルギー患者団体版）」の提案でした。

今回は、その具体的な取り組みの事例を紹介します。

4月30日～5月1日に、愛知県名古屋市から新潟県三条市までアレルギー対応アルファ化米を輸送する訓練をしました。訓練の概要は以下のとおりです。

1) 新潟県で災害が発生し、4月30日に新潟県内の患者会より名古屋のNPO法人アレルギー支援ネットワークへSOS入電があり、アレルギー対応備蓄食の提供を要請された。第1報では詳細不明。

2) 詳細不明ながらも、緊急対応の第1陣として、名古屋でアレルギー対応アルファ化米をマイカーに積み込んで出発し、高速道路を走って翌日に新潟へ届ける。輸送担当は、西尾防災リーダー会（筆者）が担当する。

3) 届け先は、途中休憩するSAなどで連絡を取りながら確認する。また、輸送車両の状況を発信し、関係者が把握できるようにする。

4) SOS発信をした患者会に直接手渡しできないことがわかったため、NPO法人にいがた災害ボランティアネットワークに中継を依頼し、最終的に長岡市と新潟市の患者会に届けてもらう。（想定のみ）

5) 訓練で実際に届けたアルファ化米は、患者会に提供するものではなく、にいがた災害ボランティアネットワークに提供し、アレルギー対応の啓発に利用してもらう。

6) 情報発信は、輸送担当者（筆者）がTwitter、facebookの個人アカウントで実施する。

7) 翌日5月1日は、災害用伝言ダイヤル171、災害用伝言板web171の練習日なので、可能なら発信を試みる。

これだけ読まれると、かなり大掛かりなことをやっているように思われるかもしれませんが、そうではありません。ほとんど筆者の脳内想定、一人芝居の訓練です。予めアレルギー支援ネットワークに依頼しておいた配布用のアルファ化米を、名古屋から三条まで届けただけというほうが現実に近いです。

今回の訓練は、いろいろな状況に対応できるように、よりリアルで詳細な想定をして訓練を重ねていく、そのきっかけ程度に考えています。前回のメルマガで「はじめはアレルギー関連啓発の一環としてのデモンストレーション的な取り組みと考え、…」としていた、そのはじめのデモンストレーションに過ぎません。

実際に、SAで休憩するたびにTwitterでつぶやきながら、名古屋から新潟まで走りました。防災やアレルギーに関心のあるフォロワーに、多少なりと考える機会を提供できたと思っています。これらのつぶやきは、私のTwilog (<http://twilog.org/TeruhikoNakane/>) に4月30日と5月1日のログとして残

しています。関心のある方は覗いてみて下さい。

やってみることで気づかされることがたくさんあります。想定は現実的か、クリアすべき目標にかなっているか。対応方法は、いざというときに役立つ方法か、実現可能な方法か。見つかった不明点の調査や不足している装備や体制の整備をどうするか。今回のような応援／授援が1対1ではなく、1対多、同時多発となったらどうするか。考え出すときりがありません。

訓練をして気づいたことは多々ありますが、ここで全て紹介するのは困難ですので、割愛させていただきます。後日、詳細を報告書にまとめてアレルギー支援ネットワークに提出する予定です。

消防の世界でよく言われるのが「訓練でできないことは非常時でもできない」という言葉。私たちはプロではありませんが、当事者としてやれることはやっておくべきと思います。公助に頼る前に、自助・共助活動ありきです。今後も今回のような訓練を繰り返していきたいと考えています。最初は交流イベント、ネットワークづくりでかまわないと思います。関心を持たれた患者会の皆さん、一緒にやってみませんか？

今回の訓練では、私の勝手な想定で訓練に仕立て上げましたが、アレルギー支援ネットワークさんや、いがた災害ボランティアネットワークさんのご協力で、それらしき形にすることができました。改めてお礼申し上げます。

また、想定の中で「長岡市・新潟市の患者会からSOS発信」としましたが、あくまでこちらが勝手に想定したものであり、患者会はこの訓練に関わっていません。寝耳に水のようなお話だったことと思います。アレルギー支援ネットワークさんより連絡いただいたので混乱はなかったように聞いておりますが、不要な対応を強いてしまったならお詫び申し上げます。次回は交流も兼ねて一緒に取り組めることを期待しています。今年は7.13水害や10.23から10年の節目の年ですし。

今回は、「救援物資（アレルギー対応備蓄食）輸送訓練」の事例を紹介しました。救援物資輸送訓練の事例については、今後も訓練事例があれば紹介していきます。

次回からは、「行政の災害用備蓄食について」紹介していきます。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただけると嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先 : info@alle-net.com

8、アレルギーっ子の防災 ★★東海アレルギー連絡会 交流会のご報告と総会のご案内

5月18日(日) 13:30-16:30 昭和生涯学習センターにて、今年度、第一回目の連絡会(交流会)が開催されました。愛知・三重・静岡から、15団体17人の参加でした。

(緑アレルギーの会・天白アレルギーの会・くらしとアレルギーを考える会・岡崎アレルギーの会・稲沢アレルギーの会・アレルギーっ子あつまあれ会・アレルギーっ子のつどいクリスマスローズ・豊川アレルギーっ子の会・ぷちヴェール日進長久手アレルギーの会・刈谷アレルギーの会・西尾アレルギーの会・アレッ子元気・RINRIN!豊橋アレルギーっ子の会・桑名アレルギーっ子集まれ!・浜松アレルギーの会・アレルギー支援ネットワーク)

各団体の自己紹介と近況報告、防災対策の進捗状況の報告をしました。

この会は、東海・東南海・南海地震(南海トラフ地震) に備える話し合いや情報交換、勉強会が主なテーマですが、アレルギー支援ネットワークよりアレルギーに関する最新の情報提供をしたり、アレルギーに関する悩み事や地域の課題を話し合ったりもしています。

今回は、新年度を迎え、入園・入学の際の園や学校との話し合いについて、相談やアドバイスも飛び交い、時間が足りないくらいでした。また、各団体、それぞれが地域の防災課や防災ボランティアさんとのネットワークを新たに作り始めたり、深めたり、これから頑張ろう! と思ってくれたり・・・皆さんの思いを共有することができたと感じています。この活動が、アレルギーに関する普及啓発に繋がることと期待しています。

さて、今回の話し合いの結果、大災害に備えて、6月に安否確認の訓練をすることにしました。東海アレルギー連絡会の事務局(アレルギー支援ネットワーク)より、各団体に対して安否確認メールを送信、それを受けて、各団体が会員に対してメールを配信し、安否の確認をするという訓練です。その結果を検証し、次回の連絡会(交流会)に持ち寄ることにしました。結果が楽しみです。

次回は、7月5日(土)13:30-16:30 中村生涯学習センター 第2集会室 です。

東海アレルギー連絡会・事務局・中西

8、アレルギーっ子の防災 ★★「アレルギーっ子の防災セット」登録についてお知らせ

【防災セットとは】

アレルギー支援ネットワークの、防災救援システムの一つです。

緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンドにより、アレルギー疾患を持つ患者家族の皆様が、アレルギー支援ネットワークと連絡を取り合える事を目的とし、災害時・緊急時に患者の情報をスムーズに伝えるために役立つ緊急時（災害時）おねがいカードをセットにしました。

【セット内容について】

防災セットは、緊急時安否確認システム登録・データ登録シリコンバンド1本・緊急時（災害時）おねがいカード3枚がセットになります。

【緊急時安否確認システム】

地震など大きな災害が発生した場合は、被災地域の登録者に対してアレルギー支援ネットワークより安否確認メールを送信します。

メールに返信していただくことで安否の確認をいたします。その際必要な情報がある場合希望内容をご連絡ください。

被災した現地の支援情報等得ることができている範囲での最新情報をお伝えいたします。

【データ登録シリコンバンド】

シリコンバンドには安否確認システムにリンクする登録番号が印字されており、バンドを身につけることで、緊急事態でも事前に登録された患者情報から迅速に救援の手配をすることができます。

【緊急時（災害時）おねがいカード】

災害時に保護者と離れ離れになっても、周囲の人にアレルギー症状や除去食品、連絡先や主治医等の情報を正確に知らせるための携帯用カードです。

非常時にはもちろんのこと、平常時にも周囲に正確な情報を提供するために役立ちます。

【防災セットお申し込みについて】

対象者：食物アレルギー、ぜん息、アトピー性皮膚炎などの患者本人または保護者の方

料金：アレルギー患者1人につき1セット無料（登録料・管理サービス料・送料などすべて不要です。）

注意・・・公益事業として助成金で作成費などを補っているため、無償サービスは先着1万名様となります。有償になる場合は事前にHPでご案内いたします。

予備・追加について：予備の購入、紛失等による追加は、シリコンバンド1個250円、緊急時おねがいカードは1枚25円となります。

（送料・振込手数料は自己負担となります）

【申し込みの流れ】

① 安否確認システムへの登録（アドレス表示）から登録してください。

登録方法をご覧ください、<http://alle-res.com/Contents/Menu.php> よりご登録下さい。

(既にシリコンバンドをお持ちの方もまずは安否確認システムへご登録ください)
登録に使用するメールアドレスは、「@」より前に「.」の使われているものはご利用
になれません。登録メールアドレスを設定する際に、メールフィルターをご使用の場合には、メ
ールフィルターの設定を解除してください。

↓

②アレルギー支援ネットワークに登録情報が届く。

↓

③登録番号の決定（番号の指定はできませんので予めご了承ください）

↓

④登録番号の入ったシリコンバンド（1本）と緊急時おねがいカード（3枚）が届く。

（登録から発送まで、1～2週間ほどかかります。）

【登録後】

災害時・緊急時にこのシステムを少しでもスムーズにご利用頂けるよう、日頃から3～4ヶ月に1度
程度メール配信をいたします。

メールアドレス変更・登録内容の変更等は、防災ネットワーク・お問合せフォームよりご連絡くださ
い。

現在、様々な状況に応じできる限りの情報提供ができるよう平時より体制を整える準備を進めていま
す。

9、賛助会員からのメッセージ ニチモウバイオティックス株式会社

皆さま、こんにちは！賛助会員のニチモウバイオティックス株式会社と申します。

画期的な抗アレルギー新素材『イムバランス』

アレルギーの体質改善をサポートいたします。

私どもは、「大豆」と「麹菌」を主原料に独自の発酵技術（特許取得）で開発した、健康食品素材お
よび健康食品を販売しています。

中でも「脱脂大豆」を「（味噌）麹菌」で発酵させた『イムバランス』は、植物乳酸菌の「プロバイ
オティックス」、食物繊維、大豆オリゴ糖の「プレバイオティックス」、そして麹多糖類の「バイオジェ
ニックス」と3つの相乗効果により乱れた免疫バランスを整える働きが確認されています。

この画期的な素材は、(株)ファンケル総合研究所、NPO 法人アレルギー支援ネットワークとともに、『イ
ムバランス』と『イムバランス』にビフィズス菌を加えて、1～5歳の幼児のアトピー性皮膚炎に及ぼす
影響を明らかにするため、あいち小児健康医療総合センターアレルギー科において臨床試験を実施し、

その有効性を平成 26 年 5 月 9 日～11 日 国立京都国際会館で開催された、「第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会」(会長：福井大学・真弓光文教授) で発表させていただきました。

また、今月 28 日(土)～29 日(日)には、名古屋国際会議場で開催される第 31 回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会(会長：伊藤浩明先生)で企業展示させていただき運びとなりました。

弊社企業展示ブースでは、前出の試験で使用された、アレルギー素材；『イムバランス』を主成分とする弊社独自ブランドの医療機関向け抗アレルギーサプリメント Dr. ImmuBalance®+GABA を展示させていただき、第 26 回日本アレルギー学会 春季臨床大会で発表に使用したポスターの展示をいたします。

貴重な休日に恐縮ではございますが、ぜひお運びいただき、ブースでお目にかかることができれば誠に幸甚に存じます。

ちなみに、「麹菌発酵大豆培養物(イムバランス®)における幼児のアトピー性皮膚炎への有効を確認」について、弊社のニュースリリースをご覧ください。

<http://www.nichimobiotics.co.jp/news/news140509.pdf>

または、ニチモウバイオティクス株式会社のホームページをご覧ください。

<http://www.nichimobiotics.co.jp/index.html>

10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ 第8回 名古屋南部アレルギーの会

名古屋南部アレルギーの会は、名古屋市の南区を中心に活動している親の会です。南区の他に、港区、瑞穂区の方も参加してくださっています。

私たちの会は、保育園の父母会活動の一環である「アレルギー交流会」が始まったことがきっかけでした。「どうしたら治るのだろう!？」という不安、あせり、孤独感や、「痒みで眠れない」わが子への絶望、不眠、疲労感などの悩みを共有して、「こうすればいいんだ!!」、「みんなも悩んでいるんだ!」とアレルギー児の親の情報交換・交流の場として活動していました。

子ども達の成長と共に、今度は就学、地域での生活に不安や悩みが出てきたことをきっかけに、NPO 法人アレルギー支援ネットワークのご指導のもと、平成 21 年に名古屋南部アレルギーの会を発足しました。仲間との出会いが心の支えとなり、癒しとなり、「悩みを励みに変えていけるように」との思いで活動しています。

定例会では、病院選び、保育園選び、小学校の学校給食、先生とのコミュニケーションの取り方、アレルギー大学の最新情報の他、「アレルギー対応の食事作り、どんな工夫してる?」、「お友達の家でのおやつ、どんな工夫してる?」などアレルギー支援ネットワークのスタッフの方や先輩お母さんたちからのアドバイスをもとに情報交換しています。

定例会の他に、パティシエやフードコーディネータを講師に迎えての調理実習を行ったりしました。また、アレルギー支援ネットワークのスタッフの方より、災害時の問題、防災時に備えての準備につて

お話を伺ったり、南区の子育てまつりでのアレルギー対応への協力や学区の防災ボランティアと一緒に災害に備えての活動もしています。

次回の定例会は6月24日（火）10時～12時 南区役所内 社協の調理実習室

アレルギー児を育てていく中での色々な悩みや疑問、保育園、幼稚園、学校給食での対応などみんなで一緒に話し合えたらと思います。

「アレルギー児の親でよかったなあ〜。」と思えることがたくさん増えていけるように、有意義な時間を一緒に過ごしませんか！

お気軽にご参加ください。もちろん、お子さま連れ大歓迎です。

子ども達が安全に健やかに過ごせる環境を整えていけるように、アレルギー児の親が孤立して悩むことのないように、今後も地域を中心に、理解の輪が広がるようみんなで元気に活動を続けていきます！！

10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会開催のお知らせ

第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会開催のお知らせ

6月28日（土）・29日（日）に名古屋国際会議場で第31回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会が開催されます。

今回の学会では、28日（土）に開催します「ミニアレルギー大学」をテーマとしたワークショップ3をアレルギー支援ネットワーク共催で行い、29日（日）には市民公開講座 体験コーナー 食物アレルギー「アレルギー除去食のレシピ紹介」をアレルギー支援ネットワーク管理栄養士が担当致します。

市民公開講座では上記体験コーナーの他、保護者対象の様々な講座・実技等、開催が予定されていますのでぜひ、足をお運びください。

詳しくは学会HP (<http://www.31nanchi.jp/index.html>) をご覧下さい。

10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★★6月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒にお話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問合わせも多く、ご要望の多い

ところから順に交流会の開催準備をすすめています。

参加希望の方はご連絡を下さい。お待ちしております。

【6月の日程】

5日(木)	守山アレルギーの会	10時~予定	会場は未定
6日(金)	あま市アレルギーの会	10時~	美和公民館 和室1
11日(水)	天白アレルギーの会	10時~	天白区在宅サービスセンターボランティア室
11日(水)	ぷちヴェール (日進・長久手アレルギーの会)	10時~	北部福祉会館
12日(木)	豊田アレルギー児ママの会	10時30分~	とよた市民活動センター(T-FACE・9階)
13日(金)	アレルギー支援ネットワーク	10時~	アレルギー支援ネットワーク 事務所
15日(日)	刈谷アレルギー児の親の会	10時~	刈谷市民ボランティア活動センター
15日(日)	西尾アレルギーの会・アレツ子元気	10時~	総合福祉センター4階
19日(木)	豊橋アレルギーっ子の会	10時~	豊橋会館「さくらピア」児童保育室
19日(木)	豊川アレルギーっ子の会	10時~	ウィズ豊川
20日(金)	岡崎アレルギーの会	10時30分~	北部地域交流センター
20日(金)	名東アレルギーの会	10時~	名東区在宅サービスセンター・研修室2
24日(火)	名古屋南部アレルギーの会	10時~	南区社会福祉協議会(南区役所)・調理室
26日(木)	緑アレルギーの会	10時~	片平ふれあいセンター 和室
26日(木)	蒲郡アレルギーっ子の会	10時~	蒲郡勤労福祉会館・和室

【対象】0歳~中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

お申込は

電話：052-485-5208

URL：<http://www.allie-net.com/>

皆さまのご参加をお待ちしております。

10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★★★乳幼児の食物アレルギー対策に関するご意見・ご要望の募集について

総務省 中部管区行政評価局及び富山行政評価事務所では、平成26年5月から7月にかけて「乳幼児の食物アレルギー対策に関する実態調査」を実施します。

この調査は、食物アレルギーの有病率が特に高いとされる乳幼児について、幼稚園、保育所等における食物アレルギー対策の実態を調査し、その一層の推進に資するため実施するものです。

食物アレルギー対策に係るニーズを幅広く把握させていただくため、アレルギーを有するお子様の保護者の方のご意見・ご要望を受付けております。

対象は、愛知県・富山県在住の方になります。

*お子様を保育所等に預けられるに当たり、食物アレルギーに関しお困りのこと
*食物アレルギー対策に関し、行政（国・県・市町村）や幼稚園・保育園等に望むこと
などについてご記入いただきますようお願いいたします。

なお、個別に回答は、原則いたしませんので、あらかじめご了承ください。

詳細は下記【総務省 中部管区行政評価局 HP】をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02kanku04_03000027.html

10、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★★★★勉強会・イベント開催のお知らせ

アレルギーに関する勉強会や、イベント・情報などをホームページにて掲載しております。
みなさまの、情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。<http://www.all-net.com/info/info07/info07-08/>

11、第31回日本難治喘息・アレルギー疾患学会の活動への寄付のお願い

2014年6月28・29日に第31回日本難治喘息・アレルギー疾患学会が行われます。

アレルギー支援ネットワークでは、この学会に協力をし、2/2開催のプレ企画の運営等も行いました。
今後は、学会内でのワークショップでアレルギー支援ネットワークの活動内容について発表等を予定しております。ぜひ今後の活動資金の寄付にご協力ください。

学会活動寄付にご協力いただける方は、
郵便局の払込書で下記へご入金をお願いいたします。

郵便振替口座番号：00870-8-182317

加入者名：特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク

通信欄：「学会寄付」とご記入ください

12、Gooddo（グッドゥ）についてご案内

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドウ）に参加いたしました。

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリック数に応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

▼gooddo（グッドウ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ぜひ「クリック」「いいね！」でご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/alliesien/?md=fb>

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

13、アレルギー教本「食物アレルギーの基礎と対応」のご案内

皆さまは、既にお持ちですか。

アレルギーに関わる皆様のバイブルとなる「食物アレルギーの基礎と対応」。

本書は、宇理須先生監修の下、アレルギー専門の医師やアレルギー対応給食の現場で活躍されていた先生等専門の方々に執筆・編集協力をしていただいております。充実した内容になっています。

アレルギーに携わる仕事をされている方、アレルギーのご家族がいらっしゃる方、アレルギーに関わる皆様はもちろん、アレルギーについて勉強がしたい、興味があるという皆様にもぜひ、お手元へ置いていただきたい一冊です。

14、募金にご協力ください

※認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークは寄付金控除対象団体です※

「GiveOne 寄付サイト」<http://www.giveone.net/cp/Pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10108>

『東海地域にアレルギーを持つ親子を地域で支えるサロンを』プロジェクト
～アレルギーを持つ親の不安な気持ちを支え、子供たちの笑顔を守ろう！！～

（※GiveOne の寄付サイトでは引き続き掲載をさせていただいております。）

<http://www.giveone.net/cp/Pg/CtrlPage.aspx?ctr=pm&pmk=10290>

「東海ろうきん NPO 寄付システム」 <http://tokai.rokin.or.jp/npo/index.html> を通じて寄付をお願いしております。寄付の方法や支援していただく事業などは、各リンク先をご確認ください。また直接の寄付および領収書発行等につきましては、下記事務所までお問い合わせください。

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは

asn-mailmagazine@alle-net.com (メルマガ編集部) までお願いします。また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。(メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。)

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部 asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6 (3月5日に事務所はこの住所に移転致しました)

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----